

主催：日本産科婦人科学会・日本小児科学会・子宮頸がん征圧をめざす専門家会議
後援：日本婦人科腫瘍学会

「子宮頸がん啓発のための市民公開講座—子宮頸がんを予防しましょう！」

女性のからだのこと、あなたはちゃんと知っていますか？がん検診を受けていますか？20代から30代、40代にかけて、女性として最も輝いているこの時期、自分は「がん」とは関係がないと思っていませんか。実は、子宮頸がんは20-40歳代の若い女性に最も多いがんであり、最近、増加傾向にあります。子宮頸がん検診をきちんと受ければ、早期がんはもちろん、がんに進行する前の状態が診断できます。その後の妊娠・分娩も可能です。さらに、子宮頸がんの原因であるヒトパピローマウイルス（HPV）予防ワクチンが開発されました。日本でも承認され、その使用も間近のこととなりました。

この市民公開講座に参加し、子宮頸がんの予防や検診、ワクチンについて、専門医のお話を聞いて正しい知識を身につけましょう。

日時：平成21年11月22日（日）14：00～16：00

場所：『女性と仕事の未来館 ホール（249席）』

JR 田町駅徒歩3分、都営三田線、浅草線三田駅徒歩1分

参加費用 無料

挨拶 14：00—14：15

主催者：（社）日本産科婦人科学会 理事長 吉村泰典

（社）日本小児科学会 会長 横田俊平

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議 議長 野田起一郎

来賓：仁木博文 衆議院議員（産婦人科医師）

講演

パート1 14：15—14：55 座長 京都大学 婦人科学産科学教授 小西郁生

1. 子宮頸がんとは？ 発生状況、原因と症状・治療法

筑波大学産婦人科学教授 吉川裕之

2. 子宮頸がん検診とは？ 検診の方法と意義、発見される病変

自治医科大学産婦人科学教授 鈴木光明

パート2 14：55—15：35 座長 防衛医科大学 小児科学教授 野々山恵章

3. 予防接種の基礎知識—ワクチンで予防できる病気

国立感染症研究所感染症情報センター長 岡部信彦

4. 子宮頸がん予防のためのHPVワクチン

自治医科大学附属さいたま医療センター産婦人科教授 今野 良

（休憩 15：35—15：45）

質疑応答 15：45—16：10 司会 小西郁生、野々山恵章

***ご出席の場合は、下記メールアドレス宛にお申し込み下さい。**
nissanfu@jsog.or.jp